

☆ 新潟・新潟駅南口西地区再開発、市が新規に1.3億円を予算案に計上  
敷地面積7,000㎡、タワーマンションと事務所ビル

新潟市の「新潟駅南口西地区優良建築物等整備事業」で、新潟市の来年度予算案に新潟駅南口西地区まちなか再生建築物等整備事業として新規に1億2,940万円が計上された。日生不動産(新潟市中央区上近江4-1-3、電025-285-1010)ら2名が、タワーマンションのマンション棟と事務所のオフィス棟を計画しており、2022年7月に着工、マンション棟が25年2月、オフィス棟が同8月の完成をめざしている。

予定地は、JR新潟駅南口の国の直轄事業である新潟駅交通ターミナル整備事業(バスタ新潟)予定地西側で、国際こども・福祉カレッジとの間のアップルスポーツカレッジ練習場跡の駐車場敷地。新潟市中央区花園1丁目の敷地面積約7,000㎡。建物は、バスタ新潟側の東側に30階建延べ床面積約2万3,000㎡のタワーマンションのマンション棟、西側に10階建延べ約8,700㎡の事務所のオフィス棟を予定している。

なお、バスタ新潟は、新潟駅南口駅前広場西側の新潟駅西側連絡通路西側に接するJR新潟駅西駐車場敷地約8,000㎡に、2階建て1階に新潟駅南北に分散した中・長距離バスのバスターミナルを集約、2階に新潟駅西側連絡通路と接続する待合空間を予定し、さらに上層階に民間施設の導入が考えられている。同事業地とバスタ新潟予定地の間は新潟駅の高架下を南北に縦断する新潟駅西線(アクセス道路)を整備する。新潟市は、新潟駅・万代・古町に至る約148haのエリアで、容積率緩和などの規制緩和や税制支援を受ける都市再生緊急整備地域の指定をめざしており、20年6月に候補地域に設定され、21年度以降の早い段階での指定を見込んでおり、同事業とバスタ新潟がその第1号に予定されている。

所管は新潟市都市政策部まちづくり推進課(新潟市中央区古町通7-1010、電025-226-2697)。